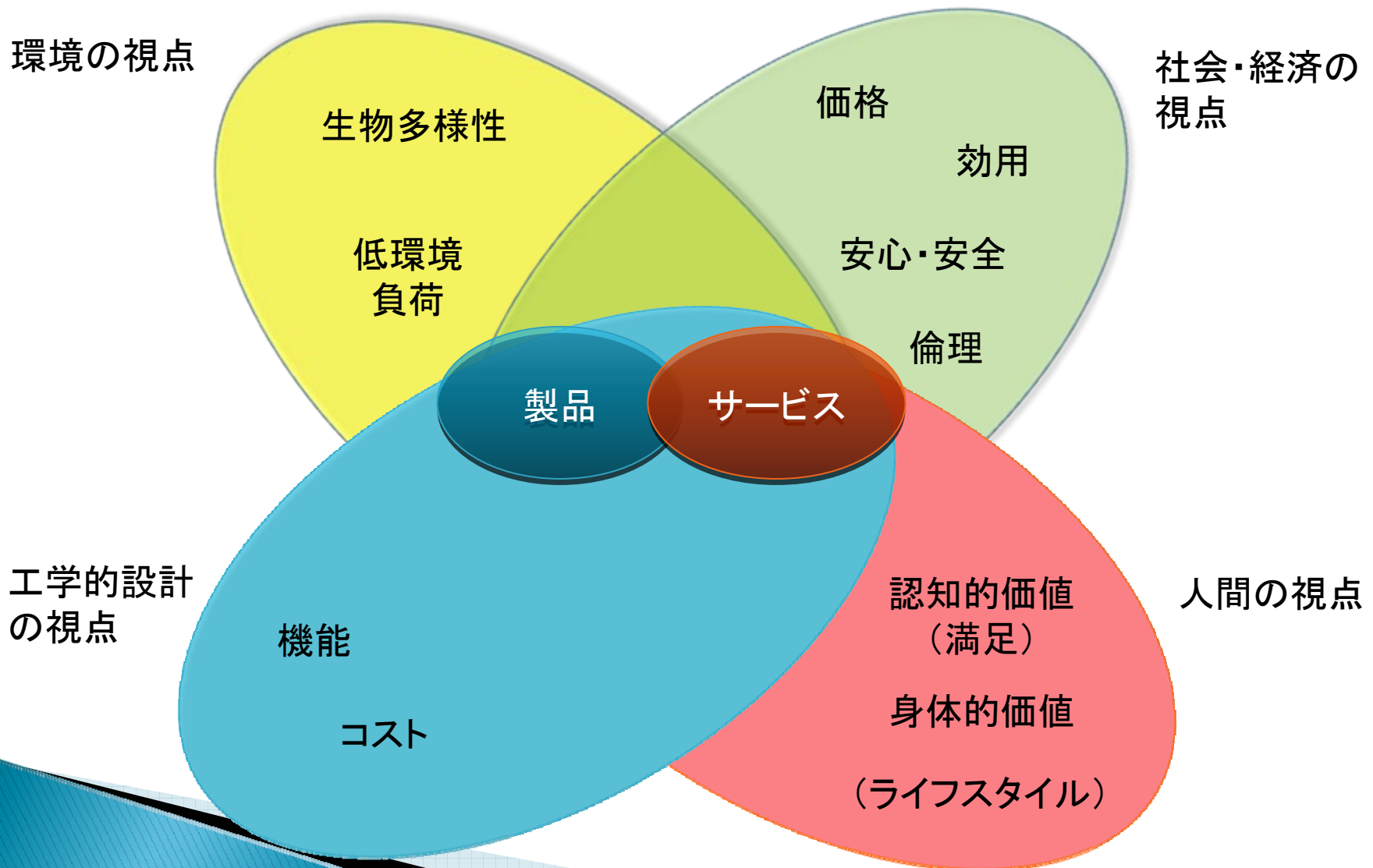


人間行動に着目した サービス情報基盤の提案

東京大学人工物工学研究センター
特任准教授 竹中 毅

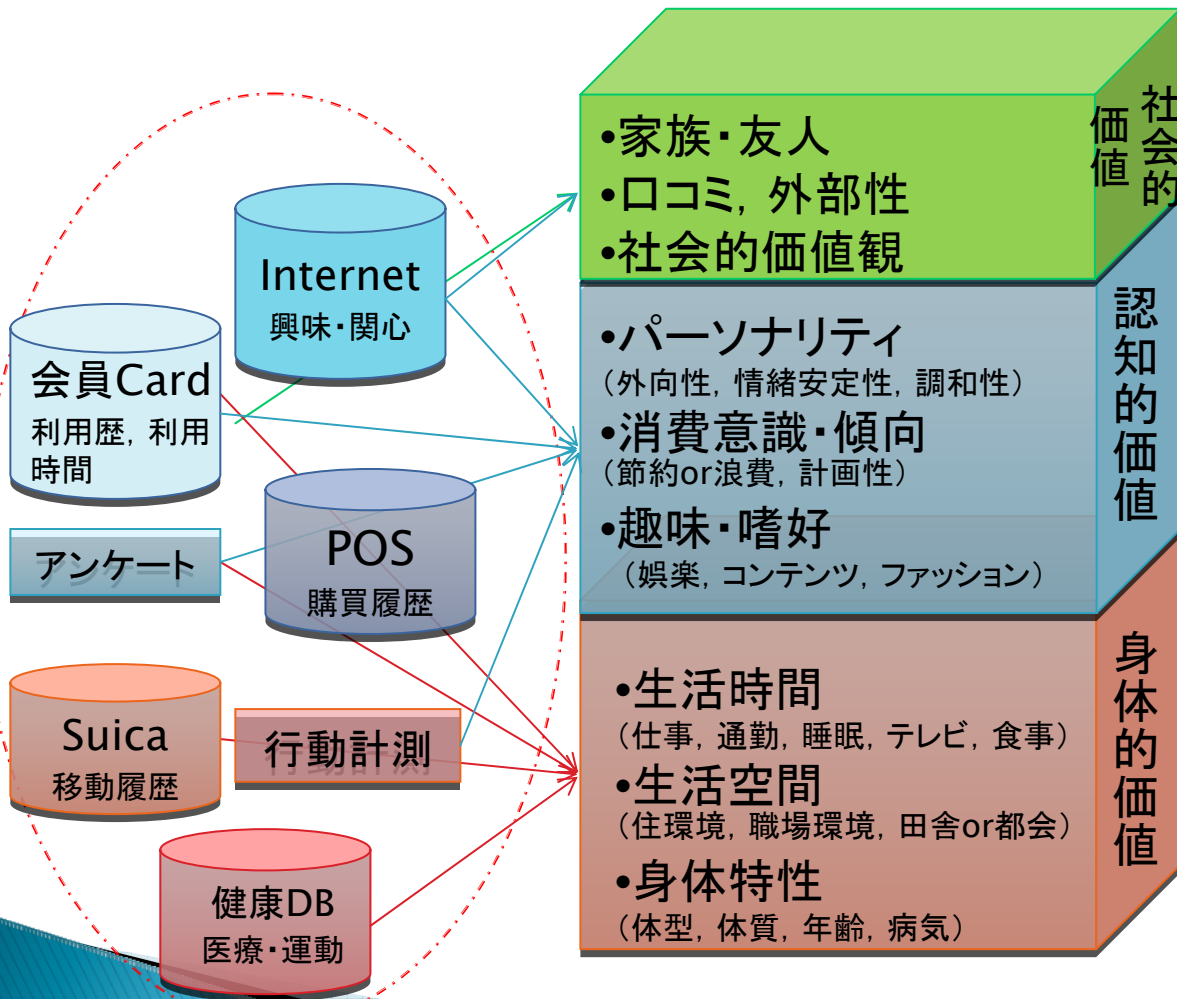
第14回科学技術交流フォーラム
サービスイノベーション
2009年3月9日: 東京大学

人工物（製品・サービス）の価値とは何か？



求められる「サービス情報基盤」とは何か？

人間行動に着目したサービス情報基盤



サービスの構成要素
 $S_n = (f_1, f_2, f_3, \dots, f_n)$
 f_1 = 提供時間, f_2 = 価格
 f_3 = デザイン

科学的手法に基づいたサービスモデル

統合



利用可能な情報

ライフスタイルデータベース

今後の課題

▶ 最優先の研究課題は何か？

計算可能な顧客モデル，科学的根拠に基づいたサービス設計方法の確立と実サービスにおける大量データを用いた検証．

⇒産学官の連携が不可欠

▶ 望ましい人材像は何か？

工学（情報科学，計算機科学，生産工学），人間科学（心理学，医学，社会学），経済学・経営学（行動経済学，技術経営学，イノベーション学）の知識を有し，領域融合的に新たな研究課題を発見し，解決できる人材．